

地域の公共交通を取り巻く 現状について

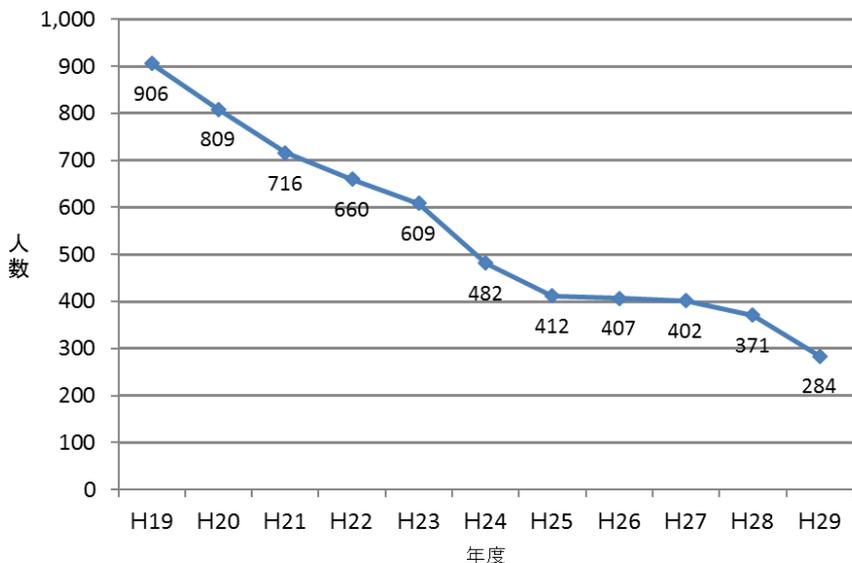
館山市 企画課

館山市の公共交通
（鉄道・バス・タクシー）の
利用者は、減少の一途を
たどっています

◇路線バス

市内路線バスの輸送人員

単位:千人



資料提供:ジェイアールバス関東、館山日東バス

H29は洲の崎線のデータが含まれていない

市の補助は 右肩上がり

路線バスの補助金額の推移 (館山市補助分)

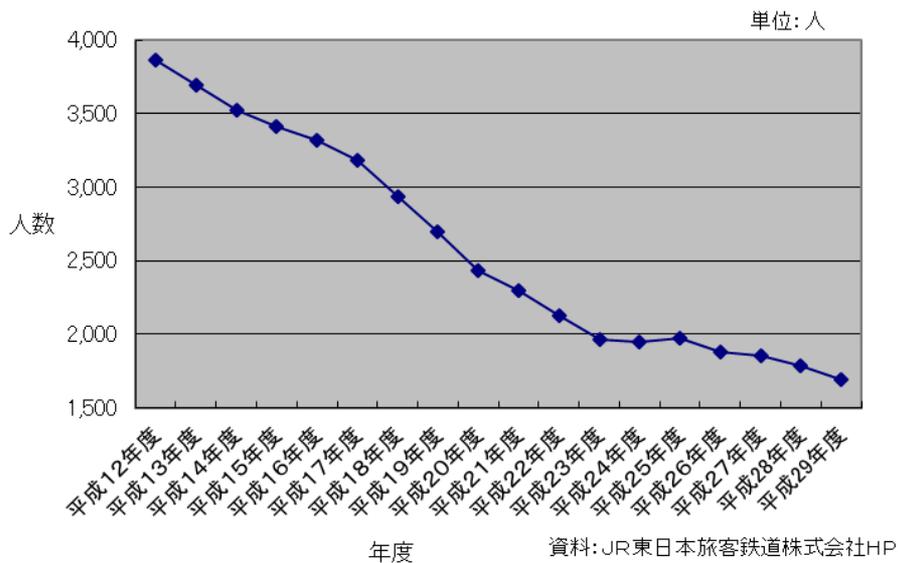
単位:千円



利用者数は 右肩下がり

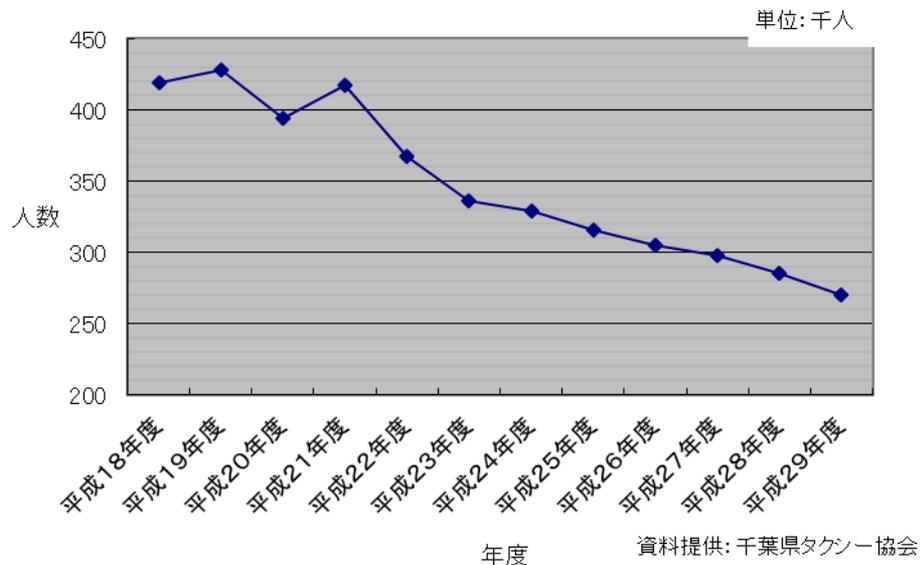
◇鉄道・タクシー

JR館山駅1日平均乗車人数



利用者数は減少の一途

館山市所在タクシー会社 輸送人員



バス・タクシーはドライバーも 高齢化、不足している状態に

◇全国のタクシードライバー数 *参考：全国ハイヤー・タクシー連合会資料
平成15年度は約36万人→平成28年度は約29万人まで**減少**

◇全国の乗合バス運転者数 *参考：平成26年7月 国土交通省の検討会資料
平成26年ころまでの10年間はほぼ横ばいだが、長期的には**減少傾向**

◇バス・タクシー運転手の平均年齢
*参考：全国ハイヤー・タクシー連合会、日本バス協会資料
バス：49.9歳（H28）、タクシー：59.4歳（H29）
全産業平均42.2歳（H28）に比べかなり高い

利用者減

担い手不足
費用増大

➡ 独立採算での運営は困難

独立採算のビジネスとして民間企業が経営している形態は、
世界では例外的 *参考：日本経済新聞H30.06.14 やさしい経済学

このままでは、地域公共交通は
消滅してしまうかもしれない

この問題を解決するためには

**行政・事業者・住民、皆が
「自分ごと」として捉え、
連携して取り組む必要がある**

→ 垣根を越え、それぞれが
できることを考え、実行に
移していくことが大切